

子どもの深い学びを導き、アクティブ・ラーニングの教師の活動を支援する エデュタブ Society 5.0時代の新教育システム「edutab」

edutabとタブレット端末だけで、教室内での学習が可視化され、協働学習ができます。
人工知能（AI）（開発中）が子どもたちの活動を把握し、活動状況を可視化、教師の活動を支援します。

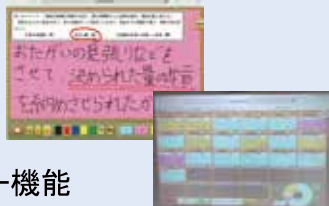
エデュタブ
「edutab」



I 教室の学びを革新する機能

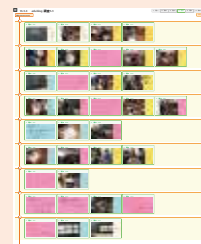
1. 学習状況・思考の可視化

- ①指で自由に書き込めるホワイトボード機能
- ②背景色選択機能
- ③タブレット画面保存機能
- ④画像、文字提示機能
- ⑤タブレットの一覧モニター機能
- ⑥学習者の意見（賛成・反対など）数の集計機能
→情報を可視化・共有して学習を活性化



2. 学習記録の活用

- ①学習者が学習記録（スタディ・ログ）を活用
→比較、学習のふり返り、学びのポートフォリオとして活用
- ②教師が学習記録を活用
→学習状況を把握し、適切な評価や情報をフィードバック



教師や学習者自身が学習の履歴や進捗を時系列に把握

3. 遠隔協働学習の実現

- ①離れた教室の学習者同士がリアルタイムに学習状況を共有し、協働学習を実現
- ②少人数の学級でも多人数での学び合いを実現

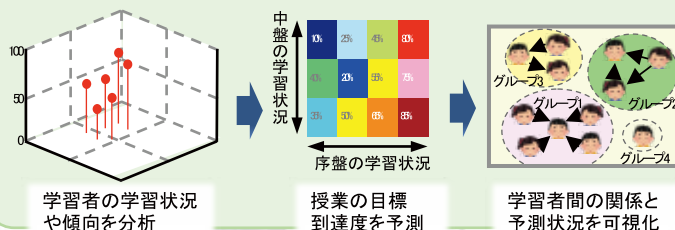


遠隔の2地点をリアルタイムに繋いだ協働学習



4. AI（開発中）で公正な個別最適化の学び

- ①人工知能（AI）（開発中）による教師支援
- ②必要な子に必要な支援をフィードバック
- ③最適な交流相手を学習者に紹介



II 簡単・安い

構成部品



**基本セット
20,000円（税別）**

- ・基本edutabセット：機能1, 2, 3搭載（4人工知能搭載モデルは別途）
- ・軽量、コンパクト
- ・無線ネットワークを独自に構築（ネット環境不要/遠隔学習には必要）
- ・コンセントに挿すとどこでも使用可能
- ※その他に教師と学習者用の必要数のiPadを準備

III 開発

開発

- ・山梨県立大学
- ・上越教育大学教職大学院
- ・長岡技術科学大学
- ・株式会社デジタルアライアンス 他

開発コンセプト

- 【教師の道具箱】
・教師を支援するためのシステム
- 【実践を重視】
・学校で誰でも手軽に活用できる簡単なシステム

- 【豊富な研究実績】
- ・査読付き論文…13件
 - ・査読付き国際会議…10件
 - ・研究報告…6件
 - ・全国大会発表…5件

○開発に際して、科研費基盤研究(C) 16K04672 代表：水落芳明の支援を受けています。

IV 今後の展望

- ・活用できる授業デザインの拡大（様々なALの授業法）
- ・適応できる校種の拡大（中学校、高校、大学、海外の日本人学校）
- ・授業場面以外での応用（ポートフォリオへの適応、ビッグデータ化）
- ・教材としての一般供給

もっと知りたい方へ

edutab

検索 または



URL <https://edutab.jp/>
メールでの問い合わせ先：山梨県立大学 八代一浩
kaz☆yamanashi-ken.ac.jp ※☆を@に変えてください。